

月日 (校時)	単元名	教材名
6 月 2 4 日 (月) 5 校時	わり算の筆算 (1)	わり算のしかたを考えよう
本時のねらい (1 3 / 1 7 時間) ○比較量を求めるには乗法を用いればよいことを理解する。		
評価規準 <b>考</b> 数直線を用いて数量の関係を捉え、説明している。(発言・ノート・観察) <b>知</b> 比較量を求めるには、情報を用いればよいことを理解している。(ノート)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
<b>【振り返り】</b>	1 前時のまとめ・振り返りをペアで伝え合う。 ・全員立ち、一人ぶつぶつ・ペアでぶつぶつ振り返りを共有する。	
<b>【展開】</b> 問題提示 <b>13:30</b>  問いをもつ 見通し  課題設定 <b>13:35</b> ・シラバス ・言語わざ  解決活動 <b>13:38</b> ・一人学び ・班学び  集団解決 <b>13:50</b> ・2グループ 学び合い① (意見出し) 学び合い② (考察)  全体共有 <b>14:00</b> まとめ	2 問題を読む。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           子どものキリンの身長は 180cm で、親のキリンの身長は、            子どものキリンの身長の 3 倍です。親のキリンの身長は何            cm ですか。         </div> <p>○前時の問題と比較し、気が付いたことを確認しましょう。          ・もとにする大きさは、子どものキリン 180cm          ・くらべられる大きさは□cm ・倍は 3 倍 ・答えのたんいは cm          ・前の時間と聞かれていることがちがって、今日はくらべられる大き          さが分からない。親は子どもの 3 倍なのでかけ算でもとめる。          ・前の時間のように数直線をかくと分かりやすい。          ・今日はくらべられる大きさが分からない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           くらべられる大きさをもとめる計算を考え、説明しよう。         </div> <p>(一人 (6 分) 班学び (6 分) 全体学び・考察 (1 5 分) まとめ (3 分) 練習問題 (5 分)          振り返り (5 分) 「数直線を使って説明しよう。」</p> <p>3 課題を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           くらべられる大きさをもとめる計算を考え、説明しよう。         </div> </p> <p>4 一人学び (自力解決) を行う。          ○数直線を使った説明をノートに書きましょう。</p> <p>5 ぶらぶらタイム、班学びを行い、意見を伝え合う。</p> <p>6 2つのグループに分かれて考えたことを出し合い、全体で考察する。  <b>【学び合い①：同じところ・ちがうところ・質問】</b>          ○全体学習をします。ホワイトボードを見て、同じところ・ちがうと          ころを話し合ひましょう。他の班に質問がある人はしましょう。          ・みんなかけ算でもとめています。式は <math>180 \times 3</math> で答えは 540cm です。          ・数直線のかき方が同じです。          ・子どものキリンの大きさが 3 つ分で 3 倍と書かれています。</p> <p><b>【学び合い②：くらべられる大きさをもとめる計算について言えること。】</b>          ・子どものキリンの 180cm を 1 とみると、親は 3 倍で 180cm が 3 つ          分だから式は <math>180 \times 3</math>。子どものキリンをもとにしてくらべられる大き          さをもとめるには、かけ算でもとめます。          ・前の時間は倍が分からなくてわり算でもとめたけれど、今日は倍が          分かっているので、もとにする大きさの何倍かで考えます。</p> <p>○2つのグループの考察を全体で伝え合ひます。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           くらべられる大きさは、(もとにする大きさ×倍=くらべられる大            きさ) と計算をするともとめることができる。         </div> </p>	・分かっていること、前 時の問題との違いに気 付か せる。  ・ハンドサインチェック を行い、自力解決ができ るようにする。 <b>【キーワード】</b> くらべられる大きさ・も とにする大きさ・倍・数 直線  ・これまでに学習した倍 の問題の数直線や解き 方を掲示しておき、自力 解決の手立てに役立て る。  <b>考</b> 数直線を用いて数量 の関係を捉え、説明して いる。(発言・ノート・ 観察  ・前時の問題との違いも 比較する。  ・キーワードを使ってま とめをする。
<b>【終末】</b> <b>14:03</b> 適応問題 <b>14:08</b> 振り返り	7 教科書の練習問題に取り組む。 8 学習したことを振り返る。	<b>知</b> 比較量を求めるには、 情報を用いればよいこ とを理解している。(ノ ート) ・振り返りの視点を示 す。

